

学習内容報告書

学校名	海陽町立 宍喰小学校
授業者	後藤 せりか

1. 単元計画

1-1. 単元名

伝えよう宍喰

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間・図工・社会

1-4. 単元の概要

今年度の総合的な学習の時間は、宍喰の豊かな自然（川や海）を学習材として探求活動を行い、体験したことを、プレゼンテーションにまとめる。そして、町外の小学校3・4年生の友達に「宍喰ツアー」として、宍喰の自然（川や海）の魅力を発信する。発信の過程を通して相手校の町の魅力を知ったり、宍喰の町の魅力を再確認させたりする。

また、宍喰の町の魅力である自然環境は、多くの人の保全活動に支えられていることに気づくとともに、課題にも気づかせる。



1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童は、自然の事象に興味を持ち、友達と協力しながら活動することができる。また、自分たちが多くの人や自然に支えられていることに気づき始めている。



前学年までに児童は、宍喰の町について調べる体験活動を積んできている。調べた事をまとめて、身近な人への発信も行っている。これらの学習を通して児童は、もっと多くの人に「宍喰の自然の魅力」を知ってもらいたいという気持ちが高まってきた。

3年生では、川や海での活動を体験し、宍喰の自然の素晴らしさを発信する。発信メンバーの意見を受け入れたり、参考にしたりする学習を通して、自分たちの思いや考えを、大勢の人に伝えるための方法を学ぶ。そして、体験活動から学び、考えたことを発信することにより、宍喰の魅力を再確認できるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力, 態度

<p>(1) 宍喰には, 季節ごとの自然の素晴らしさがあることを知るとともに, それを守る人々が活動していることを理解する。</p> <p>(2) 自分の考えや思いを, タブレット端末等を活用してまとめたり, 表現方法を工夫して伝えたりしようとする。</p> <p>(3) 自分と宍喰の自然とのつながりに気づき, 身近な自然を大切にしようとする態度を育てる。</p>

1-7. 単元の展開 (全37時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
10	<p>【海を体験】</p> <p>①海でテングサの収穫, 下処理, 加工</p> <p>②テングサでしおり作り</p> <p>③テングサでゼリー作り</p> 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面に配慮し, 楽しく活動が行えるようにする。 ・作業手順を分かりやすく伝える。 ・体験したことを共有できるように, 記録を残していくようにする。 ・校内講師を招き, 身近な人に支えられていることに気付けるようにする。 <p>【主な評価】 思考力・判断力・表現力</p>
3	<p>①潮だまりで生き物観察・捕獲</p> <p>②教室でミニ水族館作り, 海の生物の飼育</p>	<p>【使用教材等】 タブレット端末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たらい, えびら, ざる, ゼリー作りの道具 ・ラミネーター, ラミネートフィルム
7	<p>①流木拾い, 漂流物アート</p> <p>②流木キーホルダー作り</p> <p>③流木に「釘打ちトントン」</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・あみ, ミニ水槽, 水槽セット ・サンドペーパー, キーホルダーの部品等 <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宍喰漁業協同組合 ・海洋自然博物館マリンジャム
4	<p>【川を体験】</p> <p>①川遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川で宝探し, 生き物とふれ合い ・生き物運び, 川クイズ <p>②石でペーパーウェイト作り</p> 	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面に配慮し, 楽しく活動が行えるようにする。 ・作業手順を分かりやすく伝える。 ・体験したことが共有できるように, 記録(動画・写真)を残していくようにする。 <p>【主な評価】 思考力・判断力・表現力</p> <p>【使用教材等】 タブレット端末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花紙 <p>【外部連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海部川商店: 谷原広樹氏

10	<p>【「宍喰ツアー」情報発信へ向けて】</p> <p>①情報発信の方法を考える。 「宍喰ツアー」のしおりを配付する。</p> <p>②調べたことや体験したことを、プレゼンテーションアプリを使って写真や図，文章でまとめる。</p> <p>③ウェブ会議システムで木頭小学校3・4年生に発信する準備をする。</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「宍喰ツアー」のプランを児童同士が練り合えるように，アドバイスの時間を確保する。 <p>【主な評価】 思考力・判断力・表現力</p> <p>【使用教材等】 タブレット端末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビ
3	<p>【「宍喰ツアー」情報発信！！】</p> <p>①収集した情報や体験したことを「宍喰ツアー」として，木頭小学校の3・4年生に発信する。</p> <p>②木頭ツアーの発表を聞き，感想を伝え合う。</p>	<p>【教師の指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に伝わりやすい発表の仕方について確認する。 <p>【主な評価】 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>【使用教材等】 タブレット端末</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビ

2. 学習活動の実際


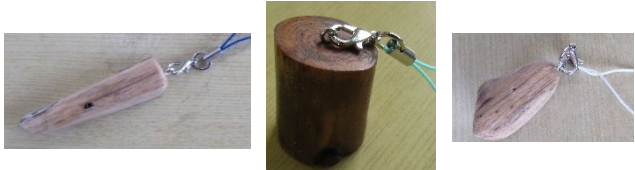

2-1. 単元における位置づけ

単元 37 時間中の 4 時間目

2-2. 本時の目標

宍喰の海岸で拾った流木を使ってキーホルダー（木～ホルダー）を作り，自分と自然とのつながりに気づくことができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時の活動の確認</p> <ul style="list-style-type: none">・自分たちが宍喰の海岸から拾ってきた流木でキーホルダー（木～ホルダー）を作成できることへの喜びと期待を持っている。 <p>2 流木を使ってキーホルダー（木～ホルダー）作り</p> <ul style="list-style-type: none">・作り方を見て，自分たちで作業を進められることに喜びを感じている。	<p>○本時のめあてを提示する。</p> <p>○学習の流れを提示し，確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">・材料や作り方・注意点 <p>○安全面に配慮した指導を行う。</p> <p>思考力・判断力・表現力（発言・観察）</p>
	
<p>3 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none">・普段は気にもとめない流木がキーホルダーになったことに，驚きと喜びを感じている。・自然からの「おくり物」に気づき，感謝の気持ちを持っている。・仲間と一緒に活動した時間を思い出しながら思い出の「木～ホルダー」を完成させた。	<p>○感想の交流を行い，自分と宍喰の海とのつながりに気がつくことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">・木～ホルダーを作った感想・宍喰の自然についての感想 <p>主体的に学習に取り組む態度（発言・発表）</p> 

3. 今回の活動の自己評価

- ・体験活動を行うことで、宍喰の自然の豊かさを実感できる。自然と人との共生について考えるきっかけづくりができた。子どもたちの感動が得られ、それが感謝の気持ちへと繋がっていった。
- ・教科横断的な学習を行うことができ、経験したことを想起しながら、子どもたちの思考や発言が繋がっていった。
- ・体験したことを元に、情報発信し、他校とつながりを持つことができた。
- ・他校の町の魅力を知ることができ、さらに宍喰の自然や伝統を大切にしたいという気持ちを持つことができた。
- ・宍喰の魅力を再確認することができ、さらに多くのことを知りたい、多くの人に知ってもらいたいという意欲を持つことができた。



4. 今後の課題

- ・子どもたちから、情報発信の方法がたくさん提案されたので、相手意識や目的意識を変化させながら、目的に合った発信をさせる。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、活動内容を制限したり、伝える方法を工夫したりする必要があった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし